

# 第23回地球環境シンポジウム

【行事コード:55501/略称:23回地球環境シンポ】

1. 主催 : [社] 土木学会 地球環境委員会
2. 日時 : 2015年9月2日(水)・3日(木)・4日(金)
3. 場所 : 北海道大学工学部応用科学フロンティア研究棟 (〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目)
4. タイムスケジュール

1日目 (9月2日)

時間	第1会場 (2階 レクチャーホール)	第2会場 (1階 セミナー室)	第3会場 (2階 セミナー室)	第4会場 (2階 ホワイエ)
8:00-8:30	受付(1F ロビー)			
8:30-9:00	-	開会挨拶	-	-
9:00-10:30	-	河川・流出(1) (座長:田中岳)	環境計画・環境保全(1) (座長:小森大輔)	-
10:30-10:40	休憩			-
10:40-12:20	-	河川・流出(2) (座長:安田浩保)	環境計画・環境保全(2) (座長:川越清樹)	-
12:20-13:15	休憩			
13:15-14:50	-			ポスター発表
14:50-15:00	休憩			
15:00-17:00	土木学会地球環境委員会 & 水文・水資源学会共催 シンポジウム	-	-	-
17:30-19:30	懇親会(エンレイソウ)			

2日目 (9月3日)

時間	第1会場 (2階 レクチャーホール)	第2会場 (1階 セミナー室)	第3会場 (2階 セミナー室)	第4会場 (2階 ホワイエ)
8:30-9:00	受付(1F ロビー)			
9:00-12:00	一般公開シンポジウム その1	-	-	-
12:00-13:00	休憩			
13:00-17:15	一般公開シンポジウム その2	-	-	-

3日目 (9月4日)

時間	第1会場 (2階 レクチャーホール)	第2会場 (1階 セミナー室)	第3会場 (2階 セミナー室)	第4会場 (2階 ホワイエ)
8:15-8:45	受付(1F ロビー)			
8:45-10:15	-	地球温暖化(1) (座長:手計太一)	降雨・熱(1) (座長:渡部哲史)	-
10:15-10:25	休憩			
10:25-12:10	-	地球温暖化(2) (座長:坪野考樹)	降雨・熱(2) (座長:呉修一)	-
12:10-13:00	休憩			
13:00-14:30	-	大気海洋汚染・ エネルギー(1) (座長:深澤達矢)	環境システム(1) (座長:西原照雅)	-
14:30-14:40	休憩			
14:40-15:50	-	大気海洋汚染・ エネルギー(2) (座長:宮本善和)	環境システム(2) (座長:大西暁生)	-
15:55-16:25	閉会式			

今年度の地球環境シンポジウムポスター賞は懇親会において発表します。昨年度の地球環境論文賞 (JSCE Award)と地球環境シンポジウム優秀講演賞の授与は閉会式で行います。

以下、各発表のタイトルの前に(A)と記載されているものは発表時間 10 分、質疑 5 分です。(B)と記載されているものについては、発表 8 分、質疑 4 分です。

### プログラム

===== 1 日 目 (9 月 2 日) =====

8 : 0 0 - 8 : 3 0 受付【1階ロビー】

【第2会場 (1階 セミナー室)】

8 : 3 0 - 9 : 0 0 開会挨拶 (委員長) 等

9 : 0 0 - 1 0 : 3 0 (87分/90分) 河川・流出 (1) (座長:北海道大学 田中岳)

- (1) (A) 降雨の不確実性に基づく確率過程論を導入した堤防の信頼性評価  
中央大学大学院 ○Chao-Wen WANG・吉見和紘・辛島史嗣・山田正
- (2) (A) 洪水時の河床高と粗度係数の変化が河川流量の算定に及ぼす影響  
国立研究開発法人 土木研究所 ICHARM ○小関博司・萬矢敦啓・工藤俊・岩見洋一
- (3) (A) UNCERTAINTY OF PEAK RUNOFF HEIGHT ASSOCIATED WITH UNCERTAINTY OF WATER HOLDING CAPACITY AND RAINFALL PATTERN  
北海道大学大学院 ○INTAN SUPRABA・TOMOHIITO J. YAMADA
- (4) (A) APPLICATION OF A TWO DIMENSIONAL FLOOD MODEL FOR DEFINING EVACUATION ZONES FOR CATTLE IN THE BOLIVIAN AMAZONIA  
東北大学大学院 ○Vladimir Moya Quiroga・Shuichi Kure・Keiko Udo・Akira Mano
- (5) (A) NUMERICAL SIMULATION OF THE JAKARTA FLOODING AND EVALUATION OF A COUNTER MEASURE TO MITIGATE FLOOD DAMAGE  
東北大学大学院 ○Idham Riyando MOE・Shuichi KURE・Mohammad FARID・Keiko UDO・So KAZAMA・Shunichi KOSHIMURA
- (6) (B) 北海道の濁水比流量の現在と将来予測—支配因子の定量化と気候変動に伴う影響評価  
北海道大学 ○阪田義隆・知北和久、室蘭工業大学 中津川誠、北海道大学 山田朋人、株式会社ドーコン 工藤啓介、株式会社福田水文センター 濱原能成、株式会社北開水工コンサルタント 木村峰樹

1 0 : 3 0 - 1 0 : 4 0 休憩

1 0 : 4 0 - 1 2 : 2 0 (90分/110分) 河川・流出 (2) (座長:新潟大学 安田浩保)

- (7) (A) タイ国 Chao Phraya 川流域における治水・利水・環境に配慮した大規模ダム貯水池の最適運用方法  
富山県立大学 ○道谷健太郎・手計太一・呉修一・Pongthakorn Suvanpimol
- (8) (A) 大規模ダム貯水池操作が河川流況に与える影響に関する数値実験  
富山県立大学 手計太一・道谷健太郎・下坂将史・○吉谷純一

(9) (B) 中規模河床波の統一的な解釈について

新潟大学 ○五十嵐拓実・安田浩保

(10) (B) メコン川の流水抵抗を踏まえた流量の推定

国立研究開発法人 土木研究所 ICHARM ○工藤俊・萬矢敦啓・小関博司・  
岩見洋一、室蘭工業大学大学院 中津川誠

(11) (B) 動的な光切断法を用いた河床波形成過程における水位・河床位の計測

新潟大学 ○利根川 明弘・星野剛・安田浩保

(12) (B) 流体・熱・化学物質・土砂の同時輸送過程を考慮した統合型流域モデリング

株式会社地圏環境テクノロジー ○森康二・田原康博・多田和広、  
中央大学 山田正、東京大学 登坂博行

(13) (B) 日本列島の水循環解析

(株)地圏環境テクノロジー ○多田和広・森康二・田原康博・吉田堯史・  
柿澤展子・飯山敦子、中央大学 山田正

12:20-13:15 休憩

13:15-14:50 ポスターセッション

ポスター発表42件(1)~(42)の紹介を行います。ポスター発表のリストは、プログラムの最後をご覧ください。

14:50-15:00 休憩

【第1会場 (2階 レクチャーホール)】

15:00-17:00 【土木学会地球環境委員会&水文・水資源学会共催シンポジウム】

開会挨拶 山田 正(中央大学大学院教授 土木学会地球環境委員会顧問、水文・水資源学会会長)

講演1 「サケと生態系サービス」～海-陸域生態系の相互作用に果たすサケの役割～

北海道大学国際本部特任教授 帰山 雅秀 氏

講演2 「雨、雪そして大気境界層の雲科学的観測」

北海道大学低温科学研究所特任教授 藤吉 康志 氏

【第3会場 (2階 セミナー室)】

9:00-10:30 (87分/90分) 環境計画・環境保全 (1) (座長:東北大学 小森大輔)

(14) (A) 石狩川流域泥炭地における地盤沈下量に基づく地下水位変化の推定

北海道大学 ○山田朋人・和智光貴・鈴木英一

(15) (A) 沖縄島二級河川の自然再生計画における目標設定のための河川類型化と課題に関する考察

琉球大学大学院 ○辻本真希・神谷大介・赤松良久・宮良工・乾隆帝

(16) (A) 湿原の生物多様性評価を対象とした利用価値および非利用価値の分離モデルの検討

長崎県立大学 ○奥山忠裕

- (17) (A) サロベツ川の水収支に基づくヤマトシジミ生息環境と気候変動の関係  
(独) 土木研究所 寒地土木研究所寒地水圏研究グループ ○杉原幸樹・平井康幸
- (18) (A) 礫厚と河川周辺地下水位が河道内浸透流に及ぼす影響について  
(独) 土木研究所 ○矢野雅昭・渡邊康玄・杉原幸樹・平井康幸
- (19) (B) 北海道沿岸域における淡水性地下水の海底湧出に関する一考察  
株式会社地圏環境テクノロジー ○田原康博・森康二・吉田堯、  
中央大学 山田正、東京大学 登坂博行

10:30-10:40 休憩

10:40-12:20 (90分/100分) 環境計画・環境保全(2)

(座長: 福島大学 川越清樹)

- (20) (A) 黒部川扇状地扇端部における自噴井の塩水化  
富山県立大学 手計太一・北隆平・○南優平
- (21) (A) 富山県西内川感潮域において塩水楔先端部に発生する逆流現象  
株式会社ハイドロシステム開発 ○笹川幸寛・手計太一
- (22) (A) 地下水水位・水質観測データを基にした黒部川扇状地の地下水流動系の推定  
富山県立大学 ○北隆平・手計太一
- (23) (A) 気候変動が水道水源ダムの水質に与える影響と水道事業における適応力の評価  
パシフィックコンサルタンツ株式会社 ○川本圭彦・梅田信・大山秀格・  
小池亮・森本達男・小熊久美子・荒巻俊也・滝沢智
- (24) (A) 将来の環境変化が国内のダム湖水質に与える影響の予測  
東北大学 ○梅田信・桑原亮
- (25) (A) ASEAN 地域における低炭素交通の長期行動計画評価ツールの開発  
(財) 運輸政策研究機構 ○竹下博之・岡和孝・松岡巖

12:20-13:15 休憩

#### 【第4会場(2階 ホワイエ)】

13:15-14:50 ポスターセッション

ポスター発表43件(1)~(43)の紹介を行います。ポスター発表のリストは、  
プログラムの最後をご覧ください。  
ポスター発表のリストは、プログラムの最後をご覧ください。

#### 【懇親会(エンレイソウ)】

17:30-19:30

今年度の地球環境シンポジウムポスター賞は懇親会において発表します。

08:30-09:00 受付【1階ロビー】

【第1会場（2階 レクチャーホール）】

09:00-12:00

【一般公開シンポジウムその1】 土木分野における適応に向けた気候変動研究の将来展望

講演1 「気候変動による影響評価と適応」

京都大学防災研究所 教授 中北 英一 氏

講演2 「北海道総合開発計画・国土形成計画への提言 ～不確定性を基礎とした防災・国土計画の在り方～」

中央大学大学院理工学研究科 教授 山田 正 氏

講演3 「水文観測の高度化と水災害に関する情報ソフトインフラの充実」

国土交通省水管理・国土保全局 河川情報企画室長 藤巻 浩之 氏

12:00-13:00 休憩

13:00-17:15

【一般公開シンポジウムその2】 新しいエネルギーシステムの構築に向けた土木の貢献

第一部 「FIT（再生可能エネルギー電力買取制度）が北海道にもたらしたものの、これからの道」  
吉田文和・松井利仁・山形 定（北海道大学）、木暮 明大（エネコープ）

第二部 「再生可能エネルギーの導入に向けた動向と土木分野の課題」

地球環境委員会政策研究小委員会報告

荒巻 俊也（東洋大学）、山崎 智雄（エックス都市研究所）

第三部 「北海道における再生可能エネルギーの開発・導入事例」

小型木質バイオマスガス化発電システムの開発

椎谷 悟（明和工業株式会社）

小型ペレット暖房ユニットの開発

佐藤 寿樹・楠本 保彦（株式会社武田鉄工所）

農作物残渣用燃焼バーナの開発

上出 光志・戸 正道・山田 敦・丹羽 忍（北海道総合研究機構）

北海道の小規模太陽光発電システム施工の課題

小野寺 省吾（オノデンCO株式会社）

北海道のメガソーラー事例と諸問題

山下 齊之・阪 豊彦(伊藤組土建株式会社)

地域住民が主役の自然エネルギー利用 ～エネルギー株式会社の設立に向けて～

家次 敬介(有限会社 三素)

=====  
3 日 目 ( 9 月 4 日 )  
=====

08:15-08:45 受付【1階ロビー】

【第2会場 (1階 セミナー室)】

08:45-10:15 (75分/90分) 地球温暖化(1) (座長:富山県立大学 手計太一)

(26) (A) 農業従事者や農村居住者の気候変動適応策に対する選好や関与意向およびその規定因

法政大学 ○馬場健司・河合裕子・小杉素子・田中充

(27) (A) 統合評価モデル AIM/CGE を用いた過去のエネルギー消費量の推計とモデル検証

(独) 国立環境研究所 ○藤森真一郎・  
増井利彦・松岡譲・戴瀚程

(28) (A) Assessment of GHG emissions and mitigation potential from Agriculture, Forestry and Other Land Land-Use in Cambodia

京都大学 ○Hak Mao・Tomoko Hasegawa・Yuzuru Matsuoka

(29) (A) 気候変動に伴う冬季における太平洋ブロッキングの北東シフトと日本周辺の低温日との関係

北海道大学 ○北野慈和・山田朋人

(30) (A) アラル海流域における陸域水循環モデルを用いた気候変動の渇水リスクへの影響評価

京都大学 ○峠嘉哉・田中賢治・中北英一

10:15-10:25 休憩

10:25-12:10 (93分/105分) 地球温暖化(2) (座長:電力中央研究所 坪野考樹)

(31) (A) 人間活動を考慮した全球気候モデルによる大気場及び流域水収支の考察

北海道大学 ○竹内大輝・山田朋人・Yadu N. Pokhrel

(32) (B) 気候変動によるタイ国の斜面崩壊影響評価

東北大学 ○小森大輔、日揮(株) 井上尚達、  
建設技術研究(株) 小野桂介、  
東京大学 渡部哲史、東北大学 風間聡

(33) (A) 積雪寒冷地のダムを対象とした融雪期における気候変動の影響に関する一考察

(独) 土木研究所寒地土木研究所 ○西原照雅・渡邊和好

- (34) (A) ASSESSMENT OF GHGS EMISSION PATHWAYS BY CONSIDERING POSSIBLE CLIMATE SENSITIVITY RANGE UNDER DIFFERENT SOCIO-ECONOMIC SCENARIOS  
 国立環境研究所 ○Xuanming SU・Kiyoshi TAKAHASHI・  
 Shinichiro FUJIMORI・Tomoko HASEGAWA・  
 Seita EMORI・Yasuaki HIJIOKA・Toshihiko MASUI
- (35) (B) 地球温暖化シナリオに基づくダム流域の積雪環境変化の定量評価  
 株式会社ドーコン 河川環境部 ○工藤啓介・中津川誠
- (36) (B) 北海道における融雪土砂災害の危険性の現状と将来予測  
 一般財団法人日本気象協会北海道支社 ○松岡直基・山田朋人・中林宏典・  
 小倉勉・小松麻美・稲津將・佐藤友徳
- (37) (B) RECCA 北海道「近未来ビューワ」の開発と公開  
 一般財団法人日本気象協会北海道支社 ○小松麻美・小倉勉・松岡直基・  
 佐藤隆光・山田朋人・稲津將・佐藤友徳

12:10-13:00 休憩

13:00-14:30 (81分/90分) 大気海洋汚染・エネルギー (1)

(座長:北海道大学 深澤達矢)

- (38) (A) 2009年5月に世界自然遺産屋久島で観測された高濃度オキシダントと  
 粒子状物質の起源解析  
 滋賀県立大学 ○永淵修・横田久里子・中澤暦・手塚賢至
- (39) (A) 札幌市のPM2.5濃度に対する都市・越境汚染の寄与評価  
 北海道大学 ○坂内俊暁・村尾直人・山形定・山口高志・深澤達矢
- (40) (B) 核実験により降下した<sup>137</sup>Csの北太平洋における拡散形態  
 一財) 電力中央研究所 ○坪野考樹・三角和弘・津旨大輔、福島大学 青山道夫
- (41) (B) 福島第一原子力発電所事故によって放出された放射性セシウム濃度の  
 沿岸域における再構築  
 電力中央研究所 環境科学研究所 ○津旨大輔・坪野考樹・  
 三角和弘・立田穰・速水洋・豊田康嗣、  
 福島大学 青山道夫
- (42) (B) 津波で洋上流失した震災漂流物の追跡調査  
 元防衛大学校建設環境工学科 ○山口晴幸
- (43) (A) オンライン熟議実験を用いた木質バイオマスの利活用を巡るステークホルダーの  
 態度変容分析  
 法政大学 ○馬場 健司・鬼頭未沙子・高津宏明・松浦正浩

14:30-14:40 休憩

14:40-15:50 (51分/70分) 大気海洋汚染・エネルギー (2)

(座長: 中央開発 宮本善和)

- (44) (A) 溪流河川における流出解析モデルを用いた小水力発電の発電単価評価  
電力中央研究所 ○豊田 康嗣・佐藤 隆宏・石井 孝・新井 涼允
- (45) (B) これからの日本のエネルギーと原子力  
株式会社協和設計事務所 ○水谷潤太郎
- (46) (B) バイオマスガス化技術の事業化における諸問題  
ーエネルギーの地産地消の実現のためにはー  
埼玉大学 ○藤野毅、(株)安藤・間 岩田脩平、  
(株)高橋製作所 下郷卓也、(株)高橋製作所 飯嶋光幸・佐藤秀雄
- (47) (B) 既設砂防堰堤を利用した小水力発電所の建設  
～高井発電所(長野県高山村)の取り組み～  
日本工営株式会社 コンサルタント国内事業本部 技術戦略室  
○河原崎裕太・小長谷修・植本実

15:55-16:25 閉会式

【第3会場(2階 セミナー室)】

08:45-10:15 (87分/90分) 降雨・熱 (1) (座長: 東京大学 渡部哲史)

- (48) (A) XバンドMPレーダと地上雨量計の降雨検知時間差を利用した降雨量の再推定  
北海道大学 ○鈴木章弘・山田朋人
- (49) (A) 広域海面水温の平年偏差に起因した東南アジア地域における降水および台風特性  
北海道大学 小林彩佳・山田朋人・○竹内大輝
- (50) (A) タイ国 Chao Phraya 川流域における多雨・少雨ポテンシャルに関する研究  
富山県立大学手計太一・道谷健太郎・○下坂将史・スヴァンピモル ポンサコーン
- (51) (A) 降雨現象の短期的周期特性に関する研究  
中央大学 ○永田喜大・吉見和紘・永島健・山田正
- (52) (B) 極端豪雨における数値予報降雨量の精度と適用性  
北電総合設計(株) 技術研究所 ○沖岳大・中津川誠
- (53) (A) 安定度を考慮した混合距離に関する微分方程式の提案と大気境界層への適用可能性  
中央大学 ○銭潮潮・山田正

10:15-10:25 休憩

10:25-12:10 (87分/105分) 降雨・熱(2) (座長:東北大学 呉修一)

- (54) (A)底面の加熱および冷却を伴う回転水槽実験による傾圧不安定波の再現  
北海道大学 ○一瀬輪子・北野慈和・山田朋人・渡部靖憲・泉典洋
- (55) (A)東北地方日本海沿岸の積雪分布比較分析と考察  
福島大学 ○井上浩太・鈴木絢美・川越清樹
- (56) (A)熱帯夜の基礎的研究  
中央大学 ○綿貫翔・山田正
- (57) (A)神田川上流域における土地利用種別毎の蒸発散量および地表面温度の推定  
○古賀達也・河村明・天口英雄・田内裕人
- (58) (A)静止気象衛星による首都圏の熱環境について  
○内田裕貴・青山定敬・朝香智仁・野中崇志・杉村俊郎
- (59) (B)ストリートキャニオンの構成が屋外熱環境と流れ場に与える影響に関する研究  
(研) 国立環境研究所/名古屋大学大学院環境学研究科 ○林暉・一ノ瀬俊明

12:10-13:00 休憩

13:00-14:30 (87分/90分) 環境システム(1) (座長:寒地土木研究所 西原照雅)

- (60) (A)兵庫県41市町を対象とした生活系可燃ごみのごみ袋有料化に関する費用便益分析  
兵庫県立大学 時政真依子・大西直希・○中嶋一憲
- (61) (A)住民の河川保全活動への参加と継続の要因に関する構造分析  
—アダプト・プログラムに着目して—  
滋賀県立大学 ○小松郁也・村上一真
- (62) (A)大学生の環境配慮行動の規定因の分析—大学内の環境への取り組みに着目して—  
滋賀県立大学 ○寺村友里・村上一真
- (63) (A)デマンドレスポンス制度導入による居住者行動とエネルギー消費量変化の推計  
大日本コンサルタント(株) ○森田紘圭・石田千香・大西暁生・  
川原志郎・井村秀文・加藤博和
- (64) (A)全国都道府県別における将来水需給ギャップの把握  
○大西暁生・佐藤嘉展・佐尾博志
- (65) (B)モンゴルの電力生産による水需要の時系列分析  
国立研究開発法人国立環境研究所地域環境研究センター  
○岡寺智大・王勤学・エリデニ、  
Institute of Geography, Mongolian Academy of Sciences Ochirbat Batkhisig

14:30-14:40 休憩

14:40-15:50 (66分/70分) 環境システム(2) (座長:東京都市大学 大西暁生)

- (66) (A)世界における生産分配を考慮した日本の鉄鋼生産量の推計

京都大学 ○河瀬玲奈・松岡譲

- (67) (A)屋根散水システムによる融雪促進効果に関する研究  
(株)建設環境研究所 ○童宇超、中央大学 綿貫翔・山田正
- (68) (B)東海3県における産業連関表解析と観光業支援型事業の効果分析  
名城大学 ○大武ゆかり、東京都市大学 佐尾博志、名城大学 森杉雅史
- (69) (B)CSR evaluation and environmental performance of the manufacturing industry  
山梨大学大学院 ○松田陽子
- (70) (B)島嶼部における持続可能な発展に資する指標開発と将来シナリオ作成に  
関する一考察  
東京大学大学院工学系研究科総合研究機構 ○渡部哲史・飯田晶子・中谷隼、  
東京大学生産技術研究所 乃田啓吾、  
筑波大学 武正憲、名古屋大学 中村晋一郎

**15:55-16:25 閉会式【第2会場(1階 セミナー室)】**

昨年度の地球環境論文賞(JSCE Award)と地球環境シンポジウム優秀講演賞の授与は閉会式で行います。

ポスター発表題目一覧

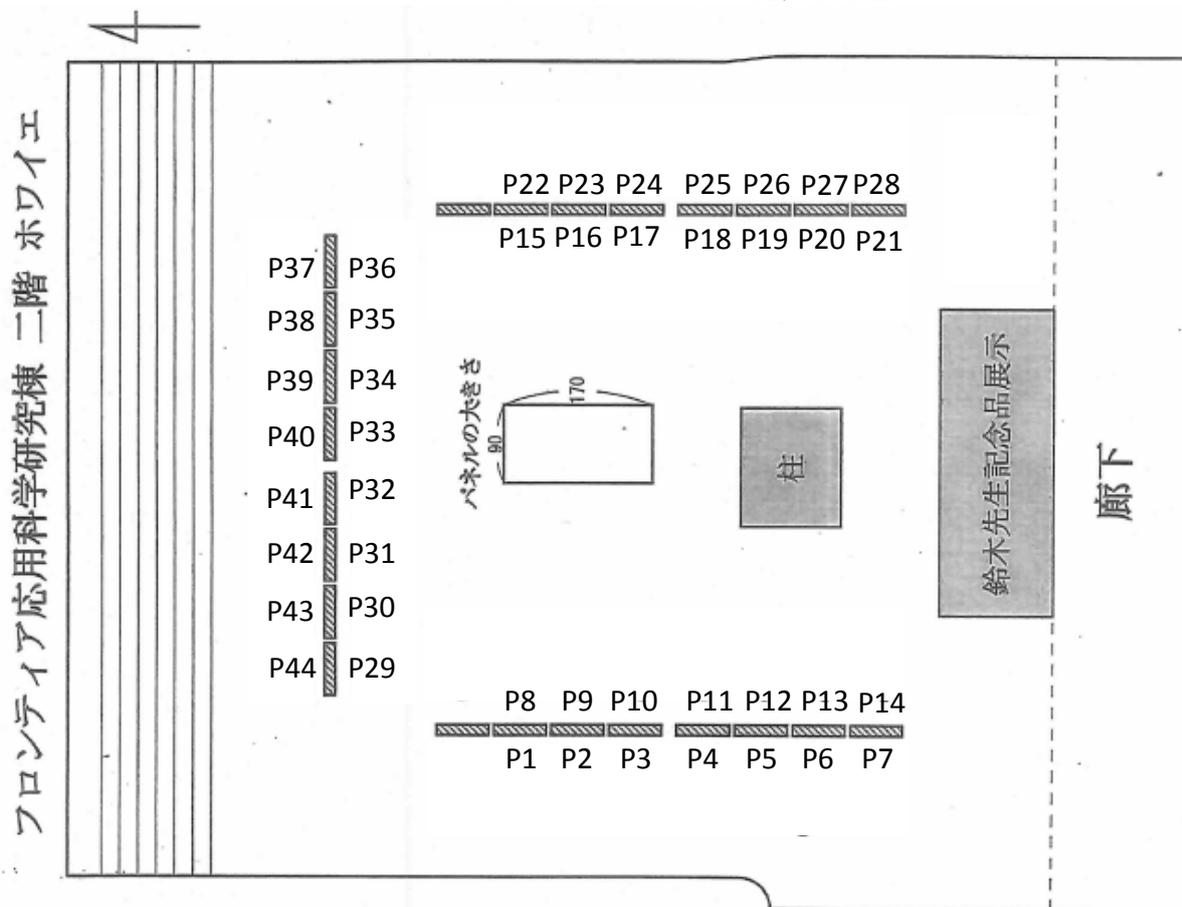
【ポスター発表会場（2階 ホワイエ）】

- P1 流れ発電装置によるエネルギーリソースへの影響の評価  
北海道大学 ○広田知也・猿渡亜由未
- P2 振動水柱型発電装置モデルに対する波浪の透過と反射の特徴  
北海道大学 ○大野紘史・猿渡亜由未・竹下勝利
- P3 ジェット下の気泡流中の酸素輸送モデル  
一財) 電力中央研究所 ○新井田靖郎、北海道大学 渡部靖憲
- P4 アジア領域の気候変動推計に関わる降雨データベースの構築と検討  
福島大学 ○新垣和
- P5 日本列島全域を対象とした土石流発生ポテンシャルの推計と評価  
福島大学 ○伊藤圭祐・川越清樹
- P6 領域気象モデル WRF を用いた西濃豪雨の再現性の検証及び土地利用変遷が  
豪雨に及ぼす影響  
豊橋技術大学 ○臼井秀行・東海林孝幸
- P7 都市暑熱環境における緩和効果のシミュレーション  
中央大学 ○王雅静・成岱蔚・綿貫翔・山田正
- P8 住民ボランティアを活用した地域小水力発電事業の検討  
名城大学 ○森龍太・大野栄治、(株)エックス都市研究所 松本明・石飛勝也
- P9 江戸城外濠における降雨強度と未処理水流入量に関する研究  
中央大学 ○津島優樹・柿沼太貴・大平一典・山田正
- P10 負荷追従型ガスエンジン熱電併給を核とした家庭用エネルギーシステムに関する研究  
北海道大学 ○高橋勇伍
- P11 燃料電池・太陽電池・バッファデバイスを導入した家庭用エネルギーシステムに関する  
研究  
北海道大学 ○佐藤博紀
- P12 ディストロメータを用いた飛沫粒径分布の風速及び高度依存性  
北海道大学 ○岡地寛季・山田朋人・渡部靖憲・猿渡亜由未、  
(独) 土木研究所寒地土木研究所 大塚淳一、  
京都大学 馬場康之・水谷英朗・久保輝広、  
神戸大学 二宮順一、金沢大学 内山雄介、京都大学 森信人
- P13 北半球における夏季のブロッキング現象が極端高温日に与える影響  
北海道大学 ○布川敦士・北野慈和・山田朋人
- P14 北海道において 2014 年 9 月に発生した線状降水帯の内部構造  
北海道大学 ○長尾賢汰・山田朋人
- P15 北海道地方におけるヒト・自然系 - 環境容量の試算と GIS による可視化 -

- ヒト自然系 GIS ラボ ○大西文秀  
 P16 石狩川流域におけるヒト・自然系 - 環境容量の試算と GIS による可視化 -  
 ヒト自然系 GIS ラボ ○大西文秀
- P17 小規模河床波方程式の定常進行波の非周期性に関する考察  
 中央大学 ○徐承煥・山田正
- P18 支川合流部を持つ開水路流れの一次元計算手法の提案  
 中央大学 ○矢本貴俊・小石一字・山田正
- P19 メッシュフリー法における最小二乗法による内挿を用いた移流項の処理手法に  
 関する研究  
 中央大学 ○成岱蔚・山田正
- P20 連続群論法による相似変換を用いた乱流境界層方程式の解析手法の提案  
 中央大学 ○劉佳・山田正
- P21 Euler・Lagrange 的方法による 1 次元不定流計算手法の提案に向けた基礎的研究  
 中央大学 ○小石一字・山田正
- P22 非静水圧を考慮した不等流の式を用いた幅の変化する開水路流れの水面形に  
 関する研究  
 中央大学 ○滝口浩作・銭潮潮・山田正
- P23 降雨の不確実性に起因する流出高の不確実性の時間発展を記述した  
 Fokker-Planck 方程式に関する基礎的研究  
 中央大学 ○吉見和紘・諸岡良優・山田正、北海道大学 山田朋人
- P24 確率過程論の導入による水文学的集中化法を用いた人体における放射能強度の  
 確率分布に関する研究  
 中央大学 ○崔 瑠芝・佐々木翔太・吉見和紘・山田正、  
 北海道大学大学院 山田朋人
- P25 標準 MPS 法におけるディリクレ境界条件の処理方法に関する研究  
 中央大学 ○劉行・成岱蔚・山田正
- P26 火星北極冠における円形跳水現象  
 北海道大学 ○有雅正修・山田朋人・泉典洋、大阪工業大学 横川美和
- P27 流路幅の縦断方向の周期的な広狭が中規模河床波の形成に与える影響について  
 新潟大学 ○中土紘作・安田浩保・星野剛・五十嵐拓実・利根川明弘
- P28 一般座標による分合流部の平面形状に適した計算点の配置手法について  
 新潟大学 ○吉武央気・中土紘作・星野剛・安田浩保
- P29 利根川上流域における降雨の空間分布が河川流量に及ぼす影響に関する研究  
 中央大学 ○清水雄太・吉見和紘・山田正
- P30 ベトナム カウ川における低水時の流量観測  
 中央大学 ○嶋田嵩弘・銭潮潮・大平一典・山田正

- P31 降水区間で降水イベントと河川水位の遭遇率を考慮した浸水被害リスク評価に関する研究  
中央大学 ○徐冰潔・山田正
- P32 斜面多層流れを考慮した流出計算手法における鉛直構造の比較に関する基礎的研究  
中央大学 ○範圍・清水雄太・吉見和紘・山田正
- P33 公開情報を使用した洪水氾濫状況の推定  
-2013年台風18号による由良川洪水を例として-  
中央大学 ○諸岡良優・寺井しおり・布村明彦・山田正、  
株式会社建設環境研究所 永島健
- P34 大都市近郊の河川流域における都市的土地利用と水害被害額の関係  
-新河岸川流域を事例として-  
芝浦工業大学 ○加藤紘規・中村仁、中央大学 松下潤、  
中央開発株式会社 関東支店 社会開発部 宮本善和、  
新潟大学 安田浩保、京都大学 佐山敬洋
- P35 米代川流域における分布型流出モデルのピーク流量誤差原因の評価  
東北大学 ○高雷・風間聡・小森大輔
- P36 愛知県名古屋市における住宅内の家具所有台数の把握とその特徴について  
東京都市大学 ○大西暁生・平野大輔・佐尾博志、名古屋大学 奥岡桂次郎、  
大日本コンサルタント株式会社インフラ技術研究所 森田紘圭
- P37 非静水圧を考慮した定在波を伴う開水路水面形方程式に関する研究  
中央大学 ○楊麗・成岱蔚・銭潮潮・山田正
- P38 透過型砂防ダム上下流の河川の底生動物群集の種多様性  
東北大学 ○林達也
- P39 降雨時における日本橋川の水質変動に関する現地調査  
中央大学 ○陳珊珊・津島優樹・柿沼太貴・大平一典・山田正
- P40 我が国における環境配慮型トイレシステムの現状とその課題  
中央大学 ○寺井しおり・松下潤・山田正
- P41 江戸城外濠における水温・日射量・栄養塩と溶存酸素濃度の関係性に関する考察  
中央大学 ○柿沼太貴・銭潮潮・大平一典・山田正
- P42 江戸城外濠における全窒素・全リン・pHの変動に関する基礎的研究  
中央大学 ○高山直人・柿沼太貴・大平一典・山田正
- P43 任意地点における小水力発電の実現可能性検討手法についての研究  
室蘭工業大学大学院工学研究科 ○小池達也・中津川誠、日本気象協会 白谷友秀
- P44 風力ランプ現象発生時における総観場の気候学的解析と確率的予測手法の開発  
(一財)電力中央研究所 ○大庭 雅道・野原 大輔・門倉 真二

ポスターセッション ポスター配置予定図



- ・ポスターセッションはシンポジウム1日目（9月2日）13：15～14：50に第4会場（2階 ホワイエ）にて行われます。
- ・当日、パネルには番号を書いた用紙が貼られています。自分のポスターと同じ番号のパネルにポスターを掲示してください。
- ・パネルのサイズは縦170cm×横90cmです。
- ・ポスターは画鋏またはテープで貼るようお願いします。
- ・当日は会場の混雑が予想されます。スペースの有効活用にご協力ください。